

自転車と歩行者。 両者の安全を守るには？



いま
井馬さん (39歳、女性) 歩道を走っている自転車にとっても危険を感じています。自転車は車道を走るルールになっているはず。自転車専用の道路を造るなどして、安心して歩ける歩道にしてほしいです。



きくち
菊池さん (23歳、女性) 私は、子どもや免許のない人も、交通の基礎知識をもっと勉強する機会があるとよいと思います。教育の時間を設けることが必要ではないでしょうか。

区長 西区の一部の道路では、実際に自転車走行空間を設けて、その効果を検証しているところです。

市長 そうですね。道路などハード面の整備が可能な場所は、行政でできる限り整備し、不可能な場所では人々の意識を変えることが安全を守ることにつながります。車は自転車より強く、自転車は歩行者より強い。強者が弱者を守るという最低限のルールを、学校教育の中で徹底するよう、教育委員会に申し入れたいと思います。



きただ
北田さん (79歳、男性) 私が車の運転をしていたころは、車道を走る自転車が車側に倒れてくるのでは、と不安でした。歩行者、自転車、車それぞれが通る空間を分離することは緊急の課題ではないでしょうか。

ごみステーションをきれいに保つには？



すずき
鈴木さん (71歳、女性) 私の団地のごみステーションは掃除の手間がかからないボックス型で、管理が行き届いていますが、住宅街には組み立て式のタイプが多いように思います。組み立て式だとごみが崩れて散らばってしまい、すごく臭いです。上にかける網もべたべたしていますし。

市長 マンションなどの集合住宅では、家主さんにボックス型のごみステーションを設置することを求めています。それぞれの住宅ごとに作っていただいています。

さとう
佐藤さん (40歳、女性) 私が使うごみステーションは、いつもきれいだと思っていたら、向かいに住む奥さんが掃除をしてくれていることが分かりました。当番制でないごみステーションでは、毎日掃除する人が決まってしまうのです。これはちょっと不公平ですよ。

市長 そうですね。ごみステーションの設置場所は地域で決めています。収集ルートや地形などの関係で、置ける場所が限られることもあるかもしれません。地域をきれいに保つために誰がどう責任を持つのか。それを話し合える仲間をつくるのが大事だと思います。

